エクステリアルーフ迎門（げいと）

取付説明書 ― 屋根門 ―

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

⚠注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●設置場所の確認をしてください。
・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
・施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。積雪が20cm（比重0.3）を超えた場合は、雪降ろしが必要なため、対応が不可能な場所には施工しないでください。
・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
●傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。倒壊による事故の原因になります。
●崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。倒壊による事故の原因になります。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●取付説明書の「4.配送・設置の前に」を確認してください。記載されている項目が満たされない場合、設置できなくなる可能性があります。
●基礎部は、商品の奥行き寸法の半分以上が、境界より後退する場所に敷設してください。
●瓦の取付はできません。重量超過のため、倒壊による事故の原因になります。

＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

●ナットは規定の本数を確実に締付け、固定してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●壁やコンクリートブロック塀は、本体取付に十分な強度を確保してください。強度が確保されていない場合、倒壊による事故の原因になります。
●壁やコンクリートブロック塀の天面は、平らさと水平レベルを確保してください。著しい凹凸があると取付けられない場合があります。

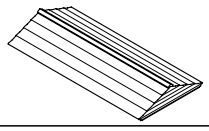
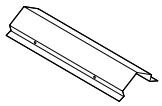
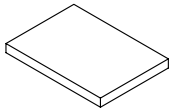
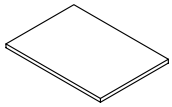
＜基礎工事について＞

⚠ 警 告

●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。基礎の量が十分確保されていない場合、倒壊による事故の原因になります。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてくいださい。
●基礎・門柱のコンクリートは、施工日の7日前を目安に準備してください。施工日までに型枠をはずし、墨打ち（位置だし）を行ってください。
●基礎及び門柱工事など、商品以外の内容による事故及び不具合などについては、一切保証できません。その他免責事項については、保証書およびカタログを確認してください。

■梱包明細表

【1】迎門（屋根門）

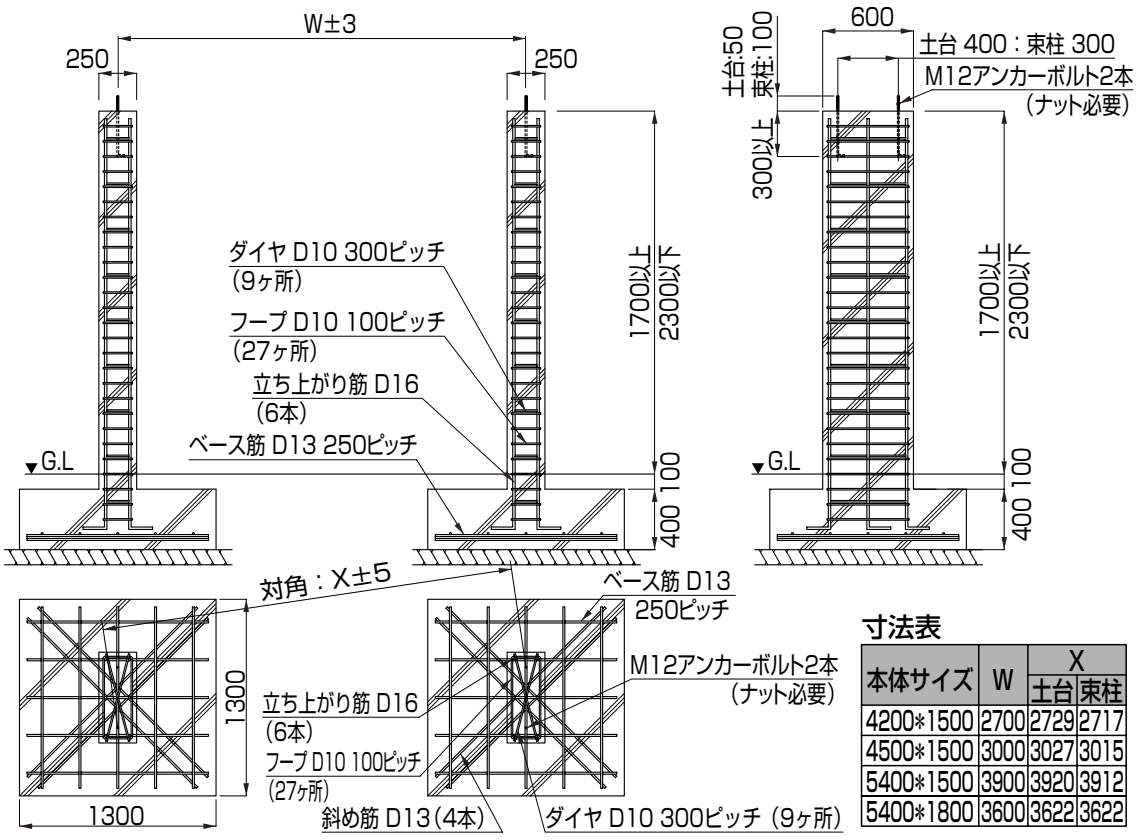
名　称	略　図	員　数
本体		1
専用キャップ（本体に付属）		2
スペーサー　t=3		5
スペーサー　t=1		10
シーリング剤		1
取付説明書〈B070〉	—	1
取扱説明書〈UB009〉	—	1

1. 基本寸法図

※門柱部分などの商品本体以外の部分について、図面は全て参考資料です。
構造および基礎体積は、全ての状況において保証するものではありません。
現場の状況に合わせて、基礎の体積・門柱の強度を十分確保してください。

本体	基礎・門柱 RC（鉄筋コンクリート）造

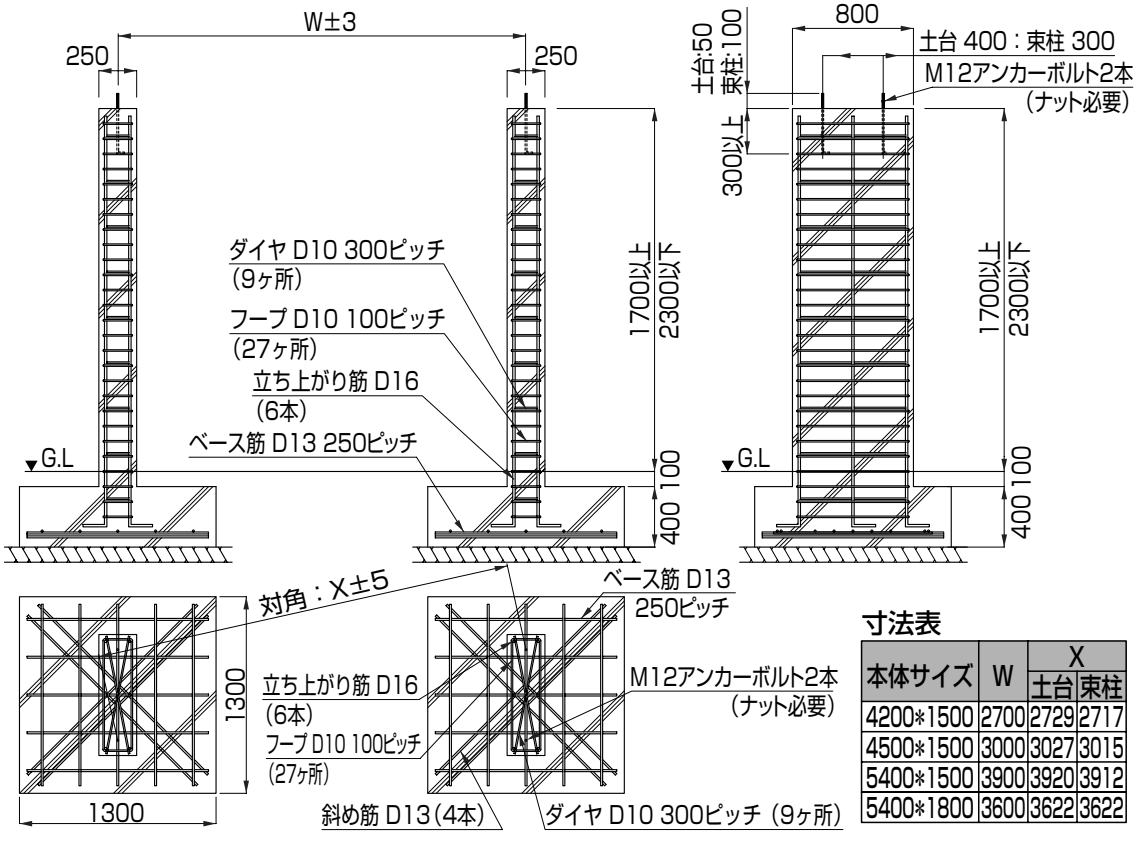
土台仕様 D1500



寸法表

本体サイズ	W	X	
		土台	束柱
4200*1500	2700	2729	2717
4500*1500	3000	3027	3015
5400*1500	3900	3920	3912
5400*1800	3600	3622	3622

束柱仕様 D1500
土台仕様 D1800



寸法表

本体サイズ	W	X	
		土台	束柱
4200*1500	2700	2729	2717
4500*1500	3000	3027	3015
5400*1500	3900	3920	3912
5400*1800	3600	3622	3622

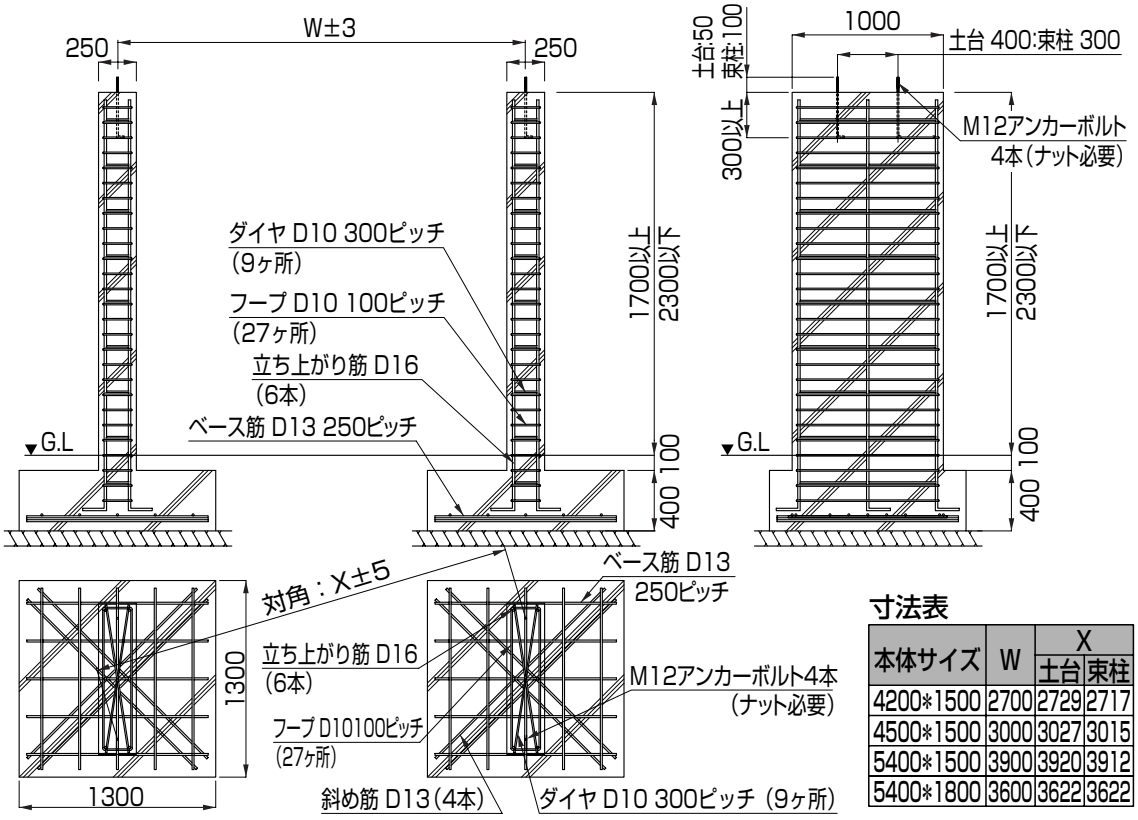
B070_200703A

1.（つづき）

※門柱部分などの商品本体以外の部分について、図面は全て参考資料です。
構造および基礎体積は、全ての状況において保証するものではありません。
現場の状況に合わせて、基礎の体積・門柱の強度を十分確保してください。

本体：基礎・門柱 RC（鉄筋コンクリート）造

束柱仕様 D1800

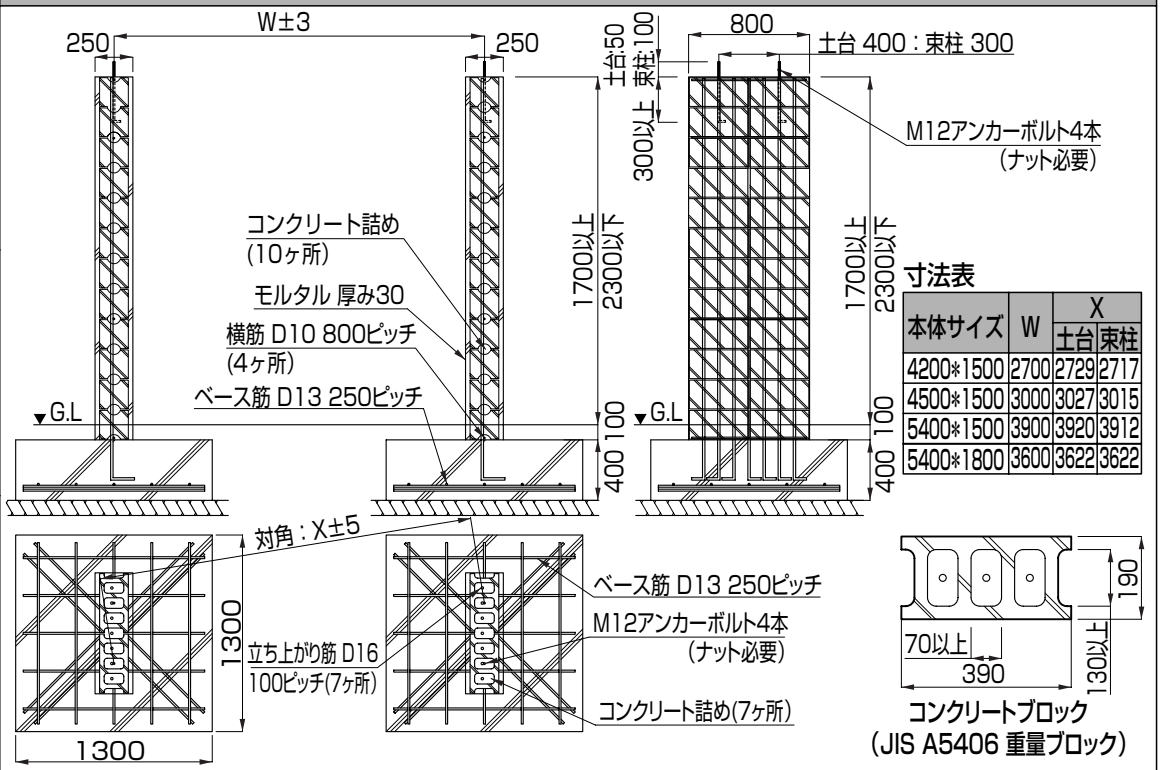


寸法表

本体サイズ	W	X	
		土台	束柱
4200*1500	2700	2729	2717
4500*1500	3000	3027	3015
5400*1500	3900	3920	3912
5400*1800	3600	3622	3622

本体：基礎・門柱 CB（コンクリートブロック）造

土台仕様 D1500
束柱仕様 D1500
土台仕様 D1800



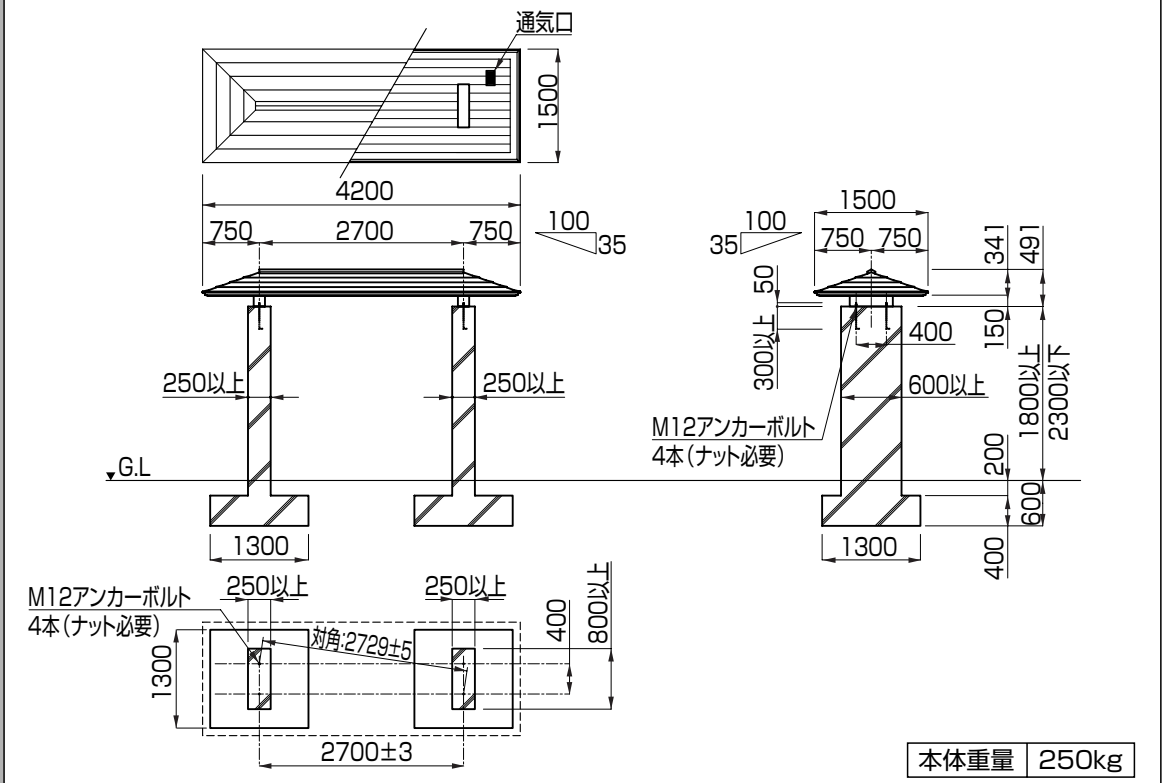
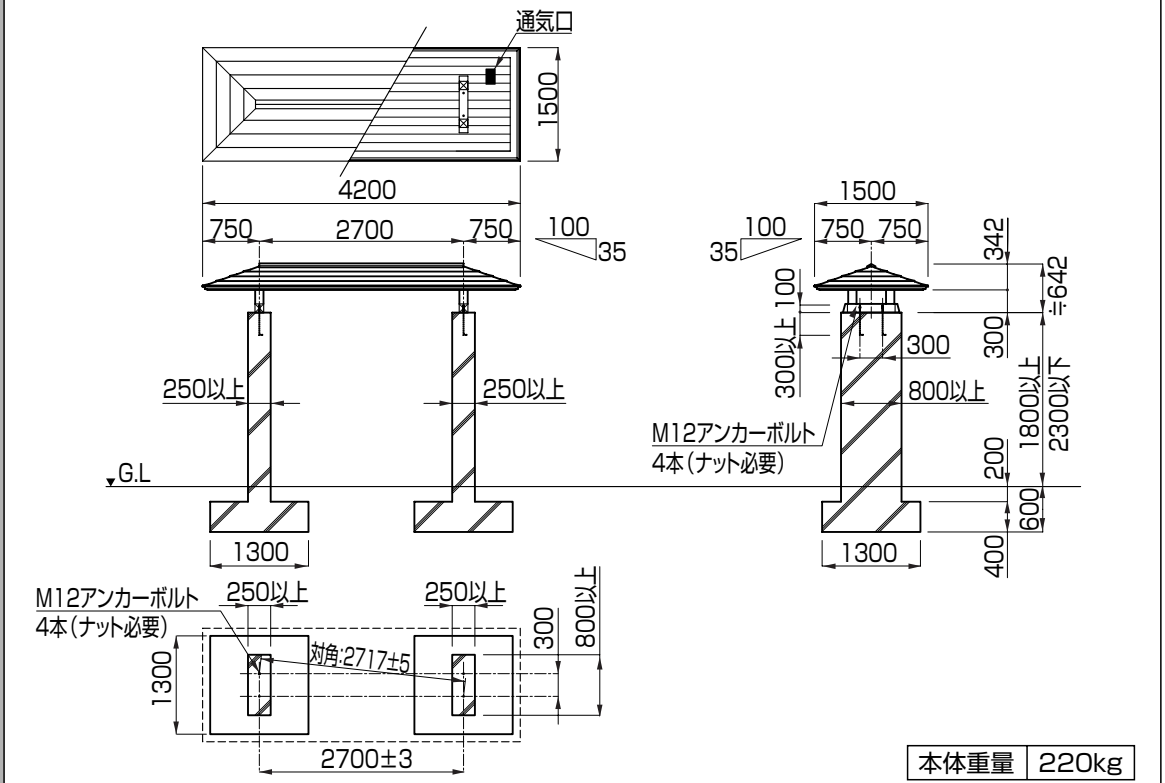
寸法表

本体サイズ	W	X	
		土台	束柱
4200*1500	2700	2729	2717
4500*1500	3000	3027	3015
5400*1500	3900	3920	3912
5400*1800	3600	3622	3622

横出荷 D1800：不可（RC造にて対応）

B070_200703A

1.（つづき）

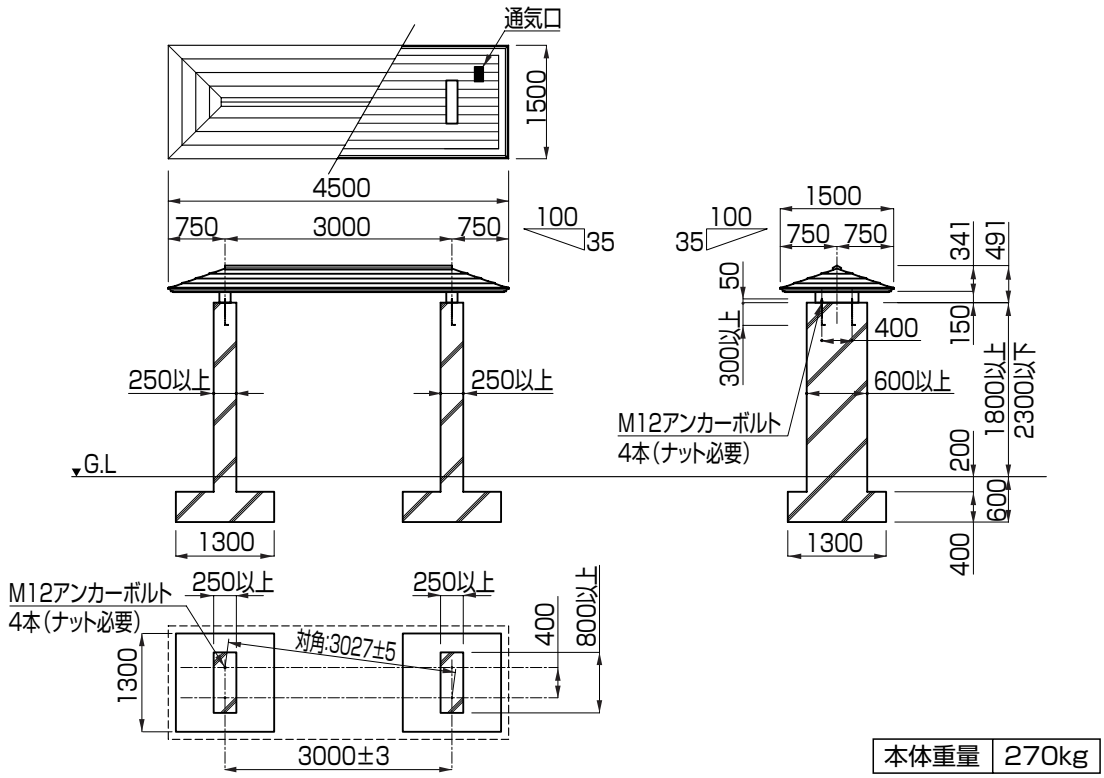
	W4200×D1500
土台仕様	 本体重量 250kg
束柱仕様	 本体重量 220kg

B070_200703A

1. （つづき）

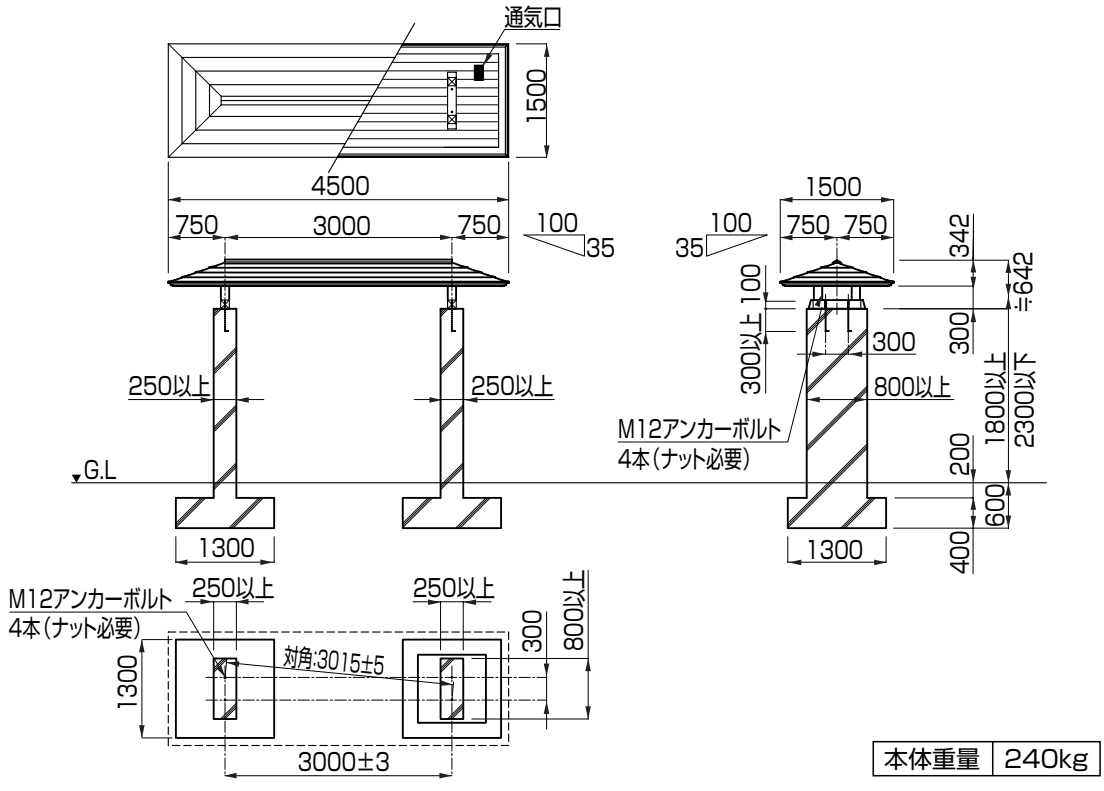
W4500×D1500

土台仕様



本体重量	270kg

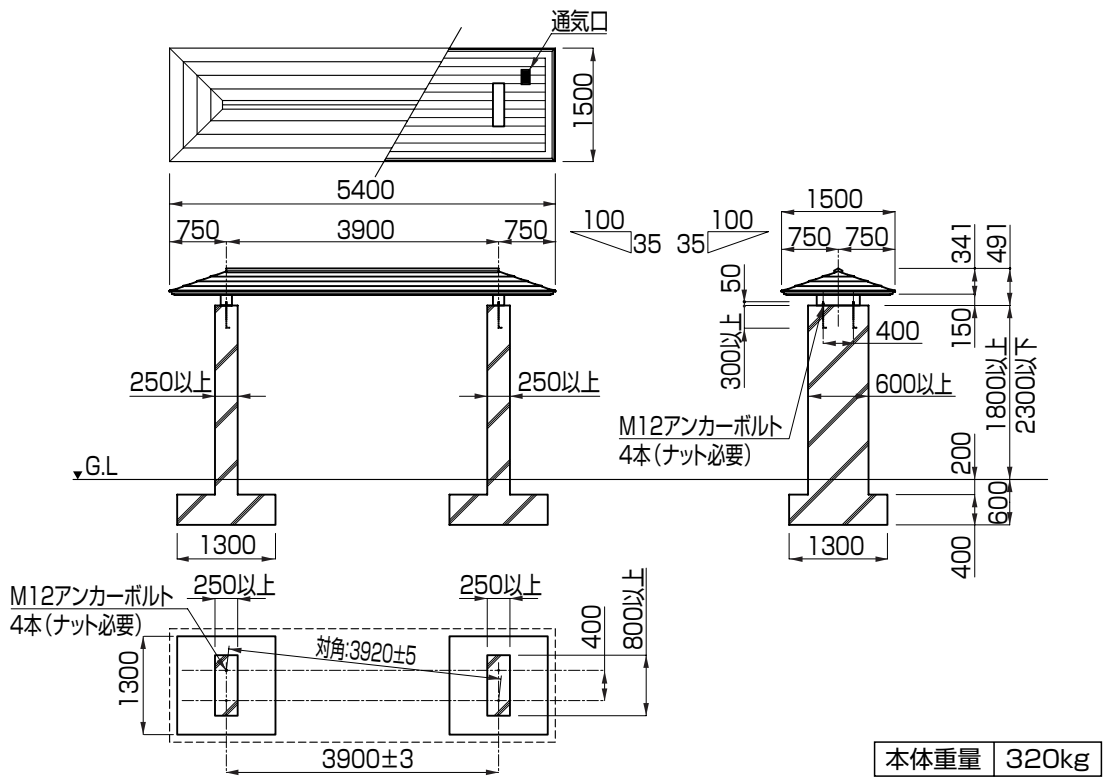
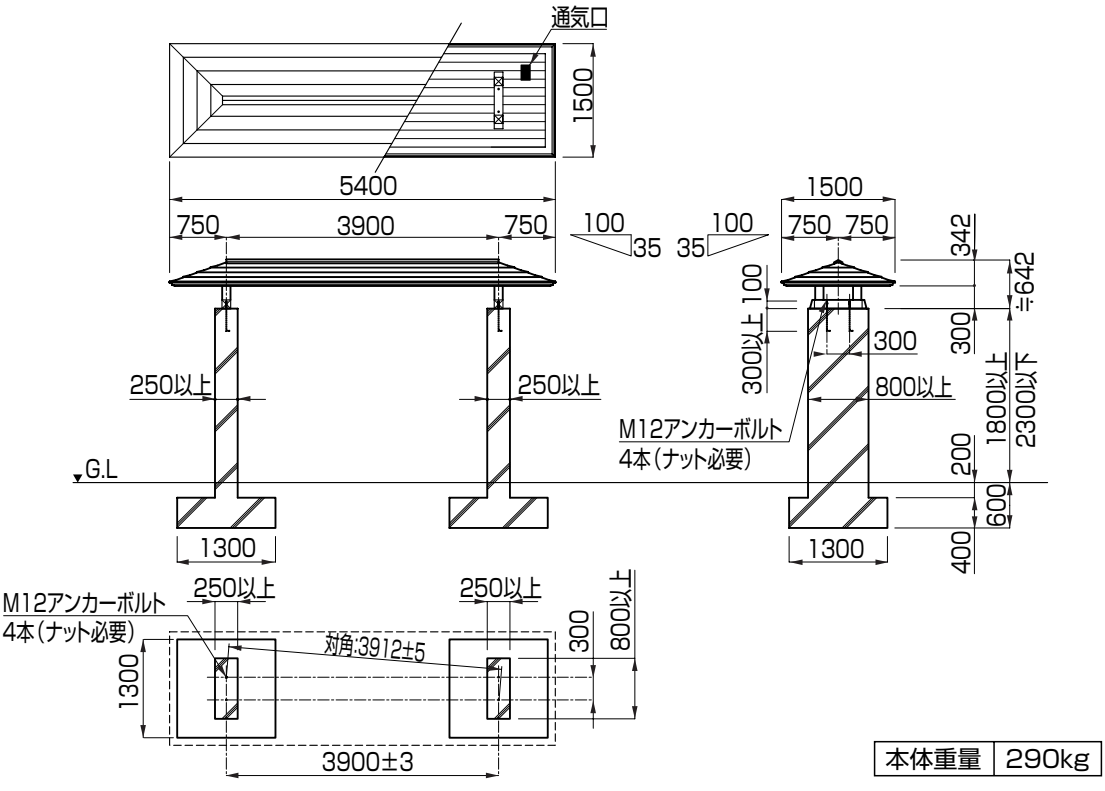
束柱仕様



本体重量	240kg

B070_200703A

1.（つづき）

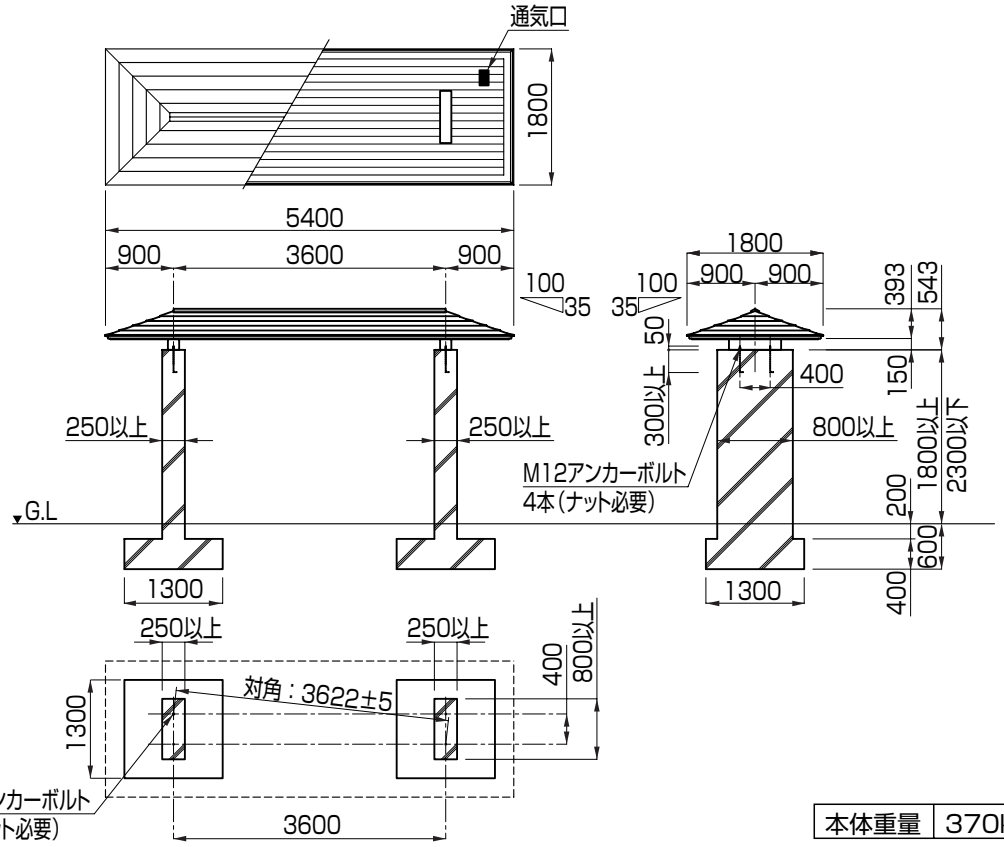
	W5400×D1500
土台仕様	
	本体重量 320kg
束柱仕様	
	本体重量 290kg

B070_200703A

1. （つづき）

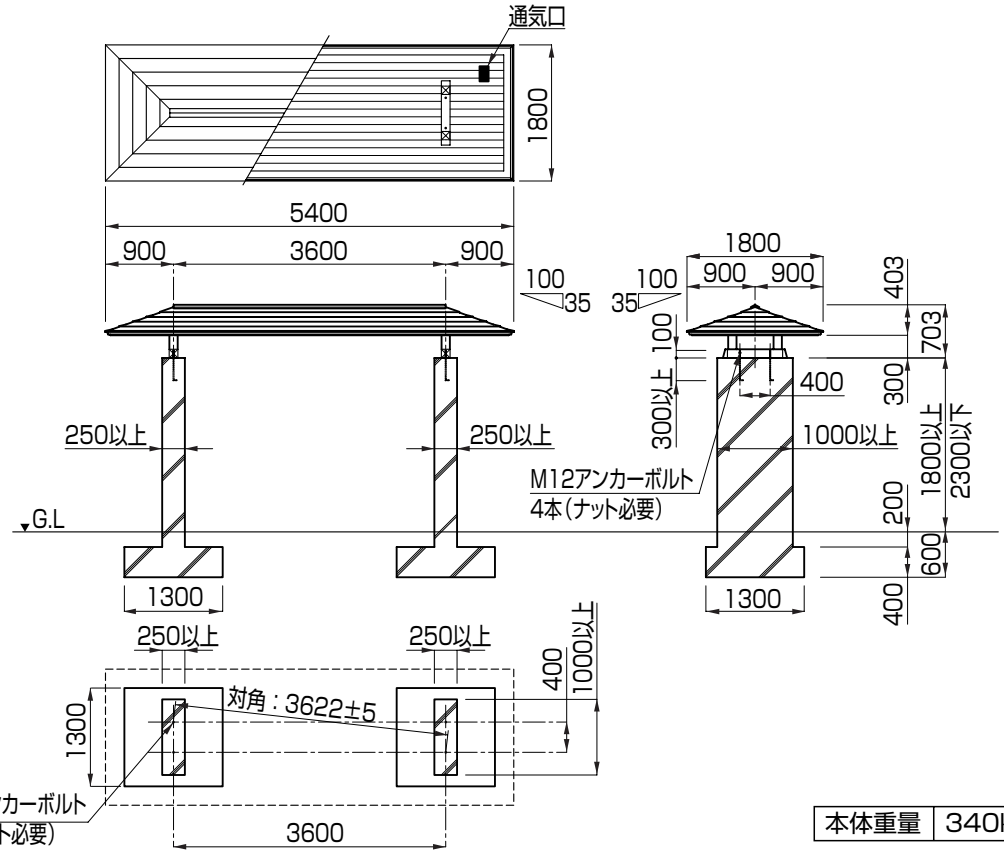
W5400×D1800

土台仕様



本体重量	370kg

束柱仕様



本体重量	340kg

B070_200703A

2.設置の流れ

工事店様にて

① 基礎打設 ➡ ② 門柱・門袖壁設置 ➡ ③ 納入前現場確認

TOEXにて

④ 配送 ➡ ⑤ 設置前現場確認 ➡ ⑥ 屋根の仮設置

工事店様にて

⑦ 屋根・門柱間の仕上げ ➡ ⑧ 最終確認と説明・引渡し

ポイント

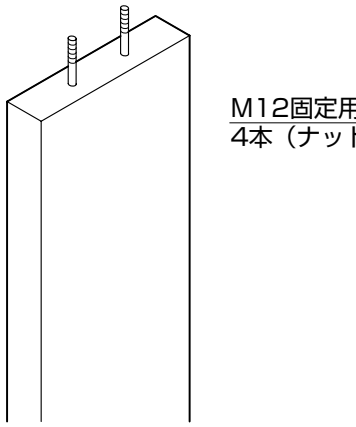
納入前現場確認時の注意点

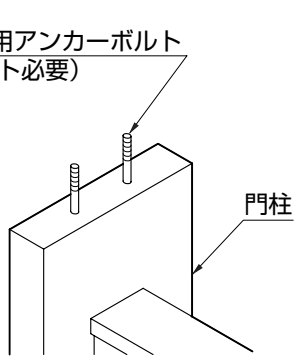
配送を受ける前に、必ずカタログのチェック欄を使って内容を確認してください。

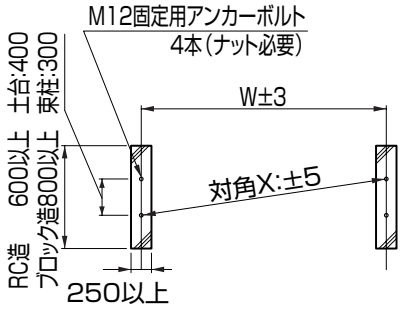
- ●基礎・門柱・配送の条件が整った場合、配送時にあわせてTOEXにて仮設置を行います。条件が整わない場合は、工事店様にて設置をお願いします。
- ●配送時に設置できない場合において、後日設置をする場合は、有償になります。

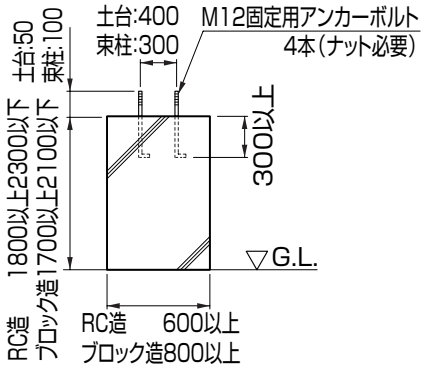
3.門柱・門袖の設置〈工事店様にて〉

※門柱部分などの商品本体以外の部分について、図面は全て参考資料です。
構造および基礎体積は、全ての状況において保証するものではありません。
現場の状況に合わせて、基礎の体積・門柱の強度を十分確保してください。









寸法表

本体サイズ	W	X	
		土台	束柱
4200*1500	2700	2729	2717
4500*1500	3000	3027	3015
5400*1500	3900	3920	3912
5400*1800	3600	3622	3622

取付け用アンカーボルトピッチ公差±3mm

補足

- ●本体には天然の木材を使用しております。樹液による汚れを軽減するため、門柱の仕上げにあわせた撥水剤を仕上げ面に塗布してください。

①左右門柱の高さ、および距離、また天端が平らになるように固定用アンカーボルトを門柱に垂直に施工してください。

ポイント

- ●固定用アンカーボルトは、必ず規定の寸法で施工してください。

ポイント

- ●取付け用アンカーボルトのピッチ範囲は±3mmにしてください。
- ●門柱天面のレベル差は±3mmにしてください。（左右の門柱及び門柱内）

②製作してある左右の門柱に、取付け用アンカーボルトのピッチと距離を確認してください。

B070_200703A

4. 配送・設置の前に〈工事店様にて〉※配送にあたり、下記の内容を確認してください。

※屋根門の設置に際して現場納入前に下記の事項を確認してください。

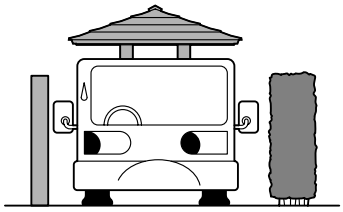


図4-1

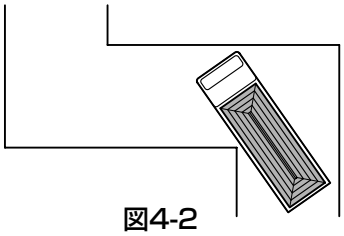


図4-2

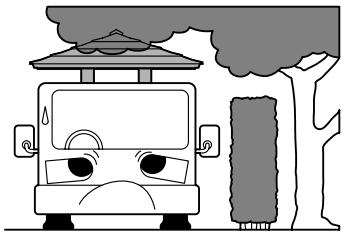


図4-3

ポイント

●屋根門はチャーター便にて現場に納入するため、トラックに通用口が確保できるよう、まず①・②を確認してください。

①道幅が狭くないか確認してください。（3m以上あるか）（図4-1参照）
②道が狭く、クランクになっていないか確認してください。（図4-2参照）

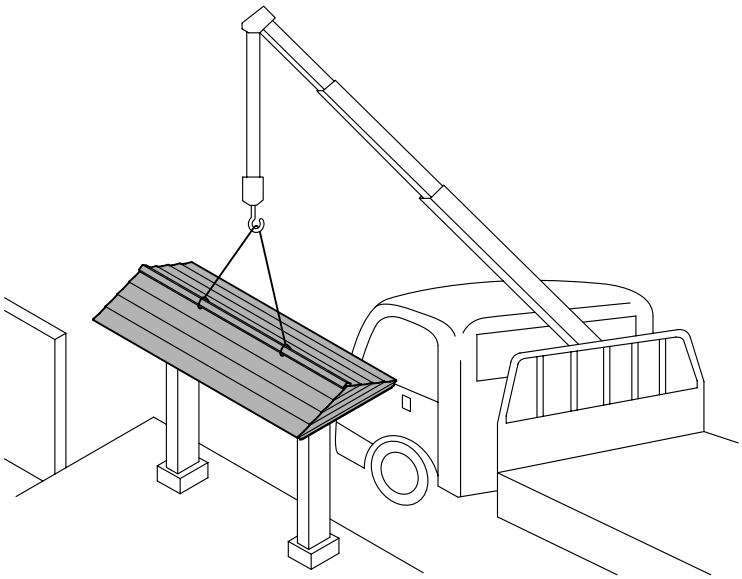
補 足

●さらに、現場での作業をスムーズに行えるよう、③～⑤を確認してください。

③上部（4m以内）に障害物はないか確認してください。（電線･引込み線･橋･高木の枝や葉など）（図4-3参照）
④クレーンの取り回しが可能か確認してください。（電線･建物･植栽などが引っ掛からないか確認してください。）
⑤基礎および門柱がしっかり打ってあるか確認してください。

5.屋根の取付け

5-1 クレーン吊り〈TOEXまたは工事店様にて〉



①梱包材を取外してください。
②商品の屋根中央に吊り上げ用アンカーボルトが固定されています。そのボルトにクレーンで吊り上げるためのワイヤーを落下の心配のないように取付けてください。

注 意

●アイボルトに緩みがないか確認してください。緩みがある場合、しっかり締め込んでください。

③クレーンを操作し門柱付近に移動してください。

注 意

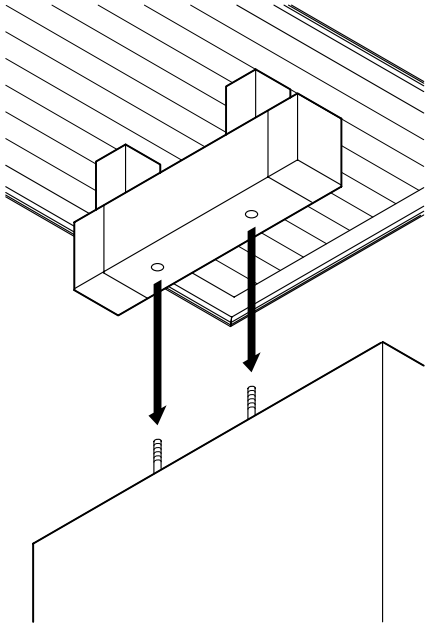
●建築物・電線などの既設物に注意してください。既設物の破損・感電の原因になります。

ポイント

●配送時、同時に施工できる場合のみTOEXにて仮設置が可能です。

5.（つづき）

5-2 屋根の固定〈TOEXまたは工事店様にて〉



①商品本体と固定用ボルトの位置を合わせてください。

補 足

●固定用ボルトが垂直でない場合は、ハンマー等で寝ている側から軽く叩いて垂直にしてください。

②ゆっくり商品を下ろし固定用ボルトを商品固定用穴に臨みこませてください。

注 意

●指を固定用ボルトと商品の間に挟まないように注意してください。

③固定用ボルトが商品にしっかり入ったらレベルを確認し、左右のレベルが違う場合は、付属の薄いスペーサーで調整してください。
④レベルが合ったら固定用ボルトのナットを締め込んでください。

ポイント

●配送時、同時に施工できる場合のみTOEXにて仮設置が可能です。

（1）土台仕様〈工事店様にて〉

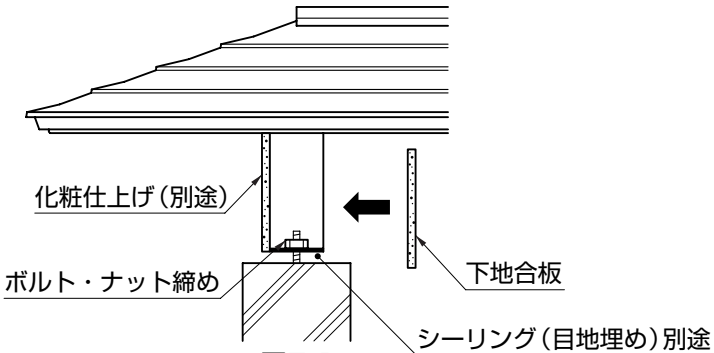


図5-1

①ナットを固定後、土台と門柱の間の隙間をシーリング（目地埋め）を行ってください。（図5-1参照）
②下地合板を貼付け、門柱の化粧にあわせて仕上げを行ってください。（図5-1参照）

（2）束柱仕様〈工事店様にて〉

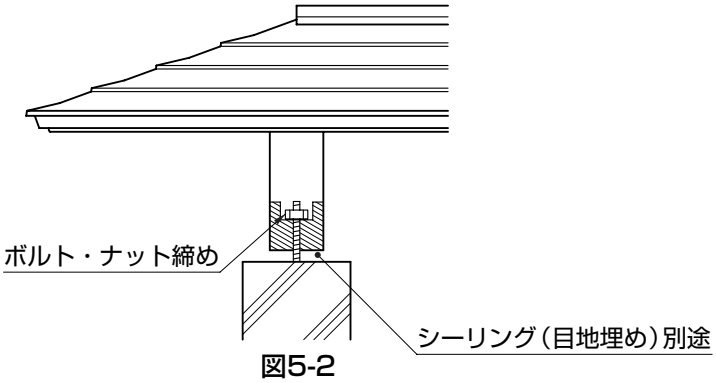


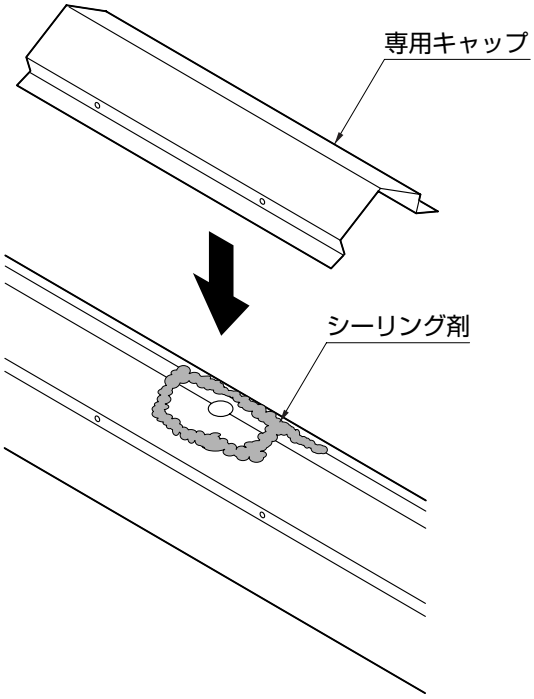
図5-2

①ナットを固定後、束柱と門柱の間の隙間をシーリング（目地埋め）を行ってください。（図5-2参照）

B070_200703A

5. （つづき）

5-3 屋根の仕上げ〈TOEXまたは工事店様にて〉



①最後に屋根を傷つけないようにフック・商品についているアイボルト、専用キャップを外し、シーリング剤を塗ってから専用キャップを被せてください。
②その後前後にある穴に専用の固定用釘で打ち込み固定してください。
③最後に門柱と商品の間に出来た隙間を仕上げ材等で処理してください。

5-4 最終確認と説明〈TOEXまたは工事店様にて〉

現場の担当者様・お施主様に確認していただき、説明を行ったうえで、必ず取扱説明書を渡してください。

メモページ

メモページ

株式会社 LIXIL

取説コード
B070

JZZ614677A
200703A_1001
201108B_1001